

第3期天草市牛深地域まちづくり計画

～地域資源を活用して出来ることから始めよう～

天草市 牛深地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	初版

第3期天草市牛深地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	牛深地域の概要	3～6
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～6
3	計画の基本方針	7
3.1	計画の基本理念	7
3.2	部門方針	7
4	分野別行動計画	8～15
4.1	産業経済部門	8
4.1.1	特色・課題	8
4.1.2	具体的な振興方策	8
4.2	観光・文化部門	9
4.2.1	特色・課題	9
4.2.2	具体的な振興方策	10
4.3	地域振興部門	11～12
4.3.1	特色・課題	11
4.3.2	具体的な振興方策	11～12
4.4	教育部門	12
4.4.1	特色・課題	12
4.4.2	具体的な振興方策	12
4.5	保健・医療・福祉部門	13
4.5.1	特色・課題	13
4.5.2	具体的な振興方策	13
4.6	生活環境・防犯防災部門	14
4.6.1	特色・課題	14
4.6.2	具体的な振興方策	14

4.7	計画の推進体制	15
4.7.1	実施	15
4.7.2	評価・改善	15
5	地域別計画	16～35
5.1	牛深地区振興計画	16～19
5.2	久玉地区振興計画	20～23
5.3	深海地区振興計画	24～27
5.2	魚貫地区振興計画	28～31
5.3	二浦地区振興計画	32～35

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

本市は、平成18年3月27日の2市8町合併以降、まちづくりの基本理念に「日本の宝島“天草”の創造」を掲げ、その実現に向けてまちづくりを行ってきたところです。

また、本地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本地域においては、人口の急速な減少や地域経済の疲弊、さらには、雇用機会の不足や少子高齢化への対応など、多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化に伴い、地域住民1人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、継続的にまちづくりを実践できるように、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、まちづくりをめぐる諸課題に体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市牛深地域まちづくり計画」を策定し、急速な人口減少に対応するとともに生きいきとした個性あるまち“牛深づくり”を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市牛深地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

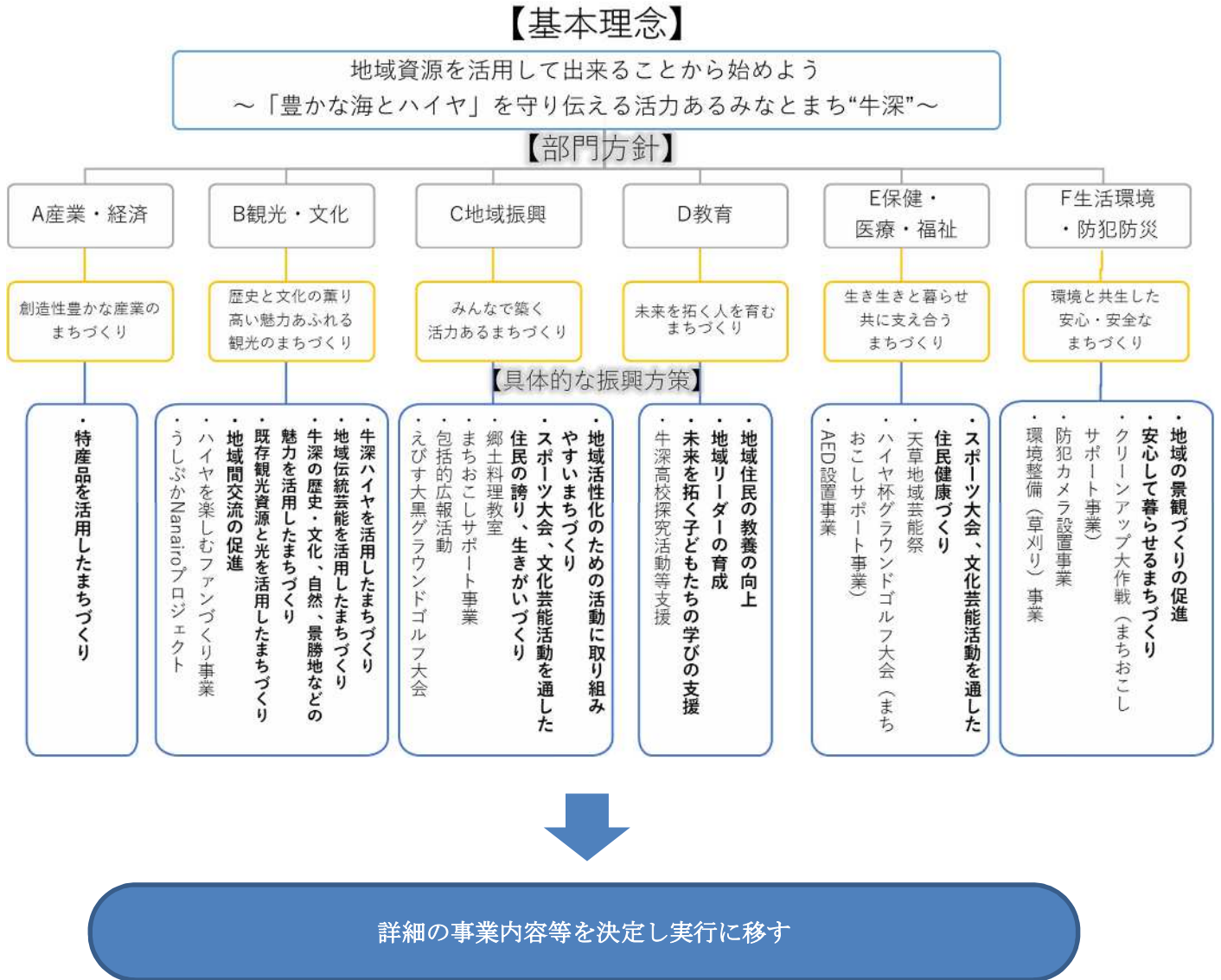
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市牛深地域まちづくり計画の方策の体系



2 牛深地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、牛深町・久玉町・深海町・魚貫町・二浦町の5つの町で構成され、本市の南端に位置します。周囲を海に囲まれ、中世より南蛮貿易、海運業の隆盛とともに中継寄港地として繁盛を極めてきました。近代では、東シナ海の豊富な海洋資源に恵まれたことから、イワシの水揚げ高で全国2位になるなど漁業の本拠地として発展し、熊本県最大の漁業基地となっています。また、中継寄港地として繁盛を極めた時代から謡われている民謡「牛深ハイヤ節」は全国に多くあるハイヤ系民謡の源流としても有名です。

図2 牛深地域位置図



国土地理院ウェブサイトより

2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は89.96km²で、市面積の13%を占めています。土地利用については、全体の約83%を農地山林で占めており、宅地道路用地については約10%となっています。

表1 面積（2018（平成30）年10月1日現在）

	牛深地域	天草市
面積 (K m ²)	89.96	683.82
割合 (%)	13.1	100

(国土地理院九州測量部)

2.3 人口・世帯数

表2 牛深地域の人口、世帯数の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年	2010 (平成22)年	2015 (平成27)年	2020 (令和2)年
人口	16,609	14,669	13,031	11,313
世帯数	6,719	6,266	5,852	5,344
世帯当たり人員	2.47	2.34	2.23	2.12

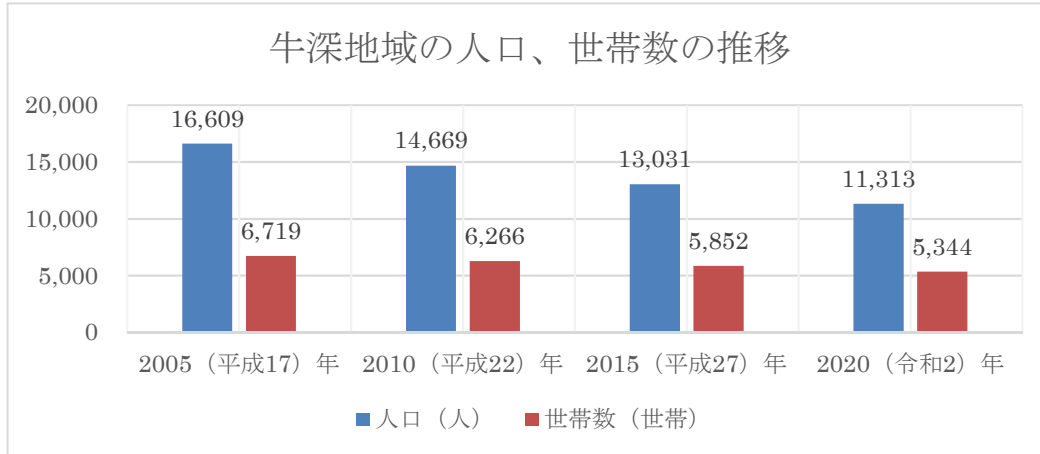


表3 牛深地域の年齢階層別人口の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年		2010 (平成22)年		2015 (平成27)年		2020 (令和2)年	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
総人口	16,609	100%	14,669	100%	13,031	100%	11,313	100%
0～14歳	2,206	13.3%	1,585	10.8%	1,179	9.0%	908	8.0%
15～64歳	8,870	53.4%	7,621	52.0%	6,255	48.0%	4,821	42.6%
65歳以上	5,533	33.3%	5,449	37.2%	5,597	43.0%	5,576	49.3%
年齢不明	0	0%	14	0.1%	0	0%	8	0.1%

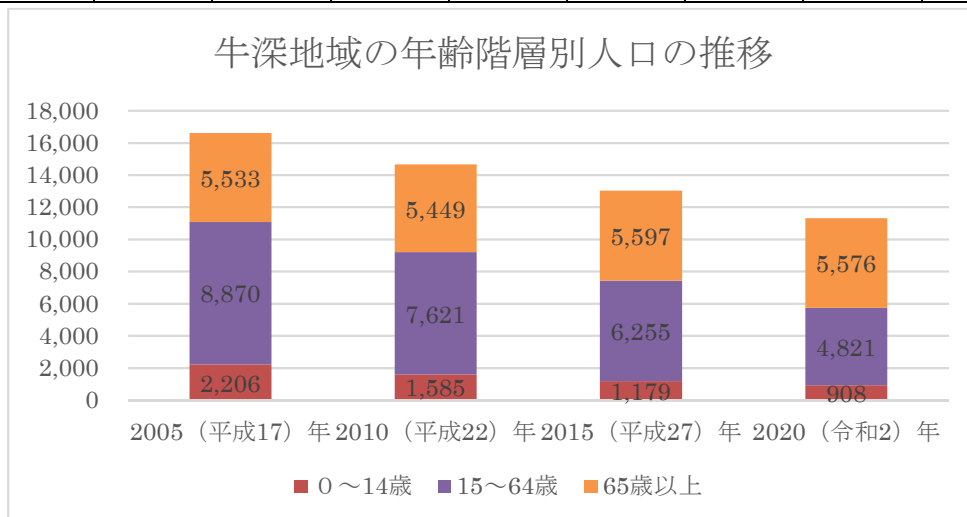


表4 牛深地域の年齢階層別将来予測

(国勢調査結果を基に天草市で算出)

	2025 (令和7)年		2030 (令和12)年		2035 (令和17)年		2040 (令和22)年	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
総人口	9,719	100%	8,232	100%	6,824	100%	5,515	100%
0～14歳	673	6.9%	508	6.2%	378	5.5%	277	5.0%
15～64歳	3,693	38.0%	2,857	34.7%	2,247	32.9%	1,743	31.6%
65歳以上	5,353	55.1%	4,867	59.1%	4,199	61.5%	3,495	63.4%

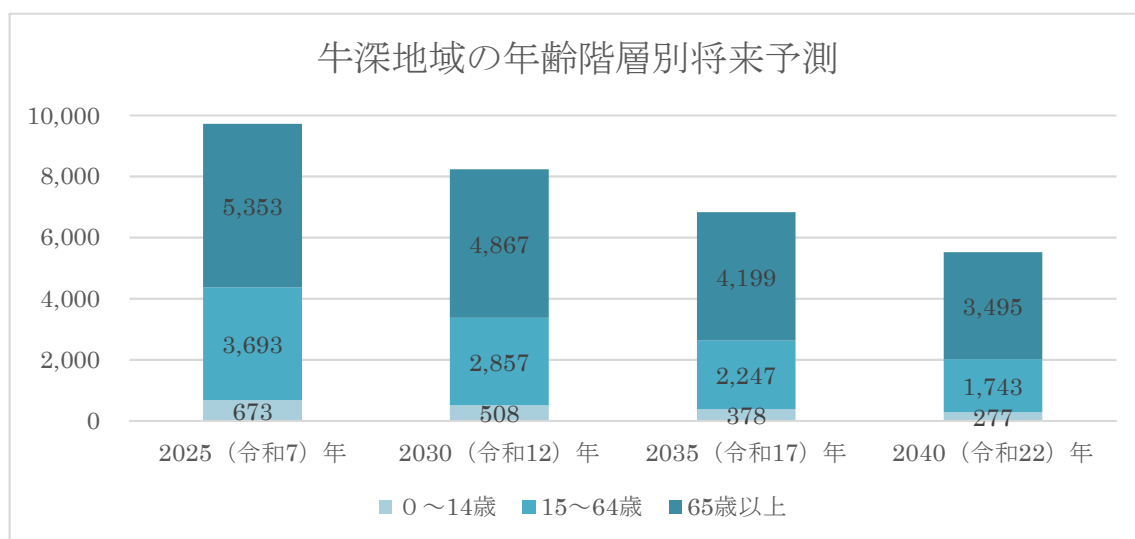


表5 牛深地域の産業別就業者数の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年		2010 (平成22)年		2015 (平成27)年		2020 (令和2)年	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
就業人口総数	7,091	100%	6,078	100%	5,621	100%	5,038	100%
第1次産業	1,417	20.0%	1,144	18.8%	991	17.6%	809	16.1%
第2次産業	1,467	20.7%	1,266	20.8%	1,167	20.8%	1,062	21.1%
第3次産業	4,207	59.3%	3,668	60.3%	3,463	61.6%	3,160	62.7%

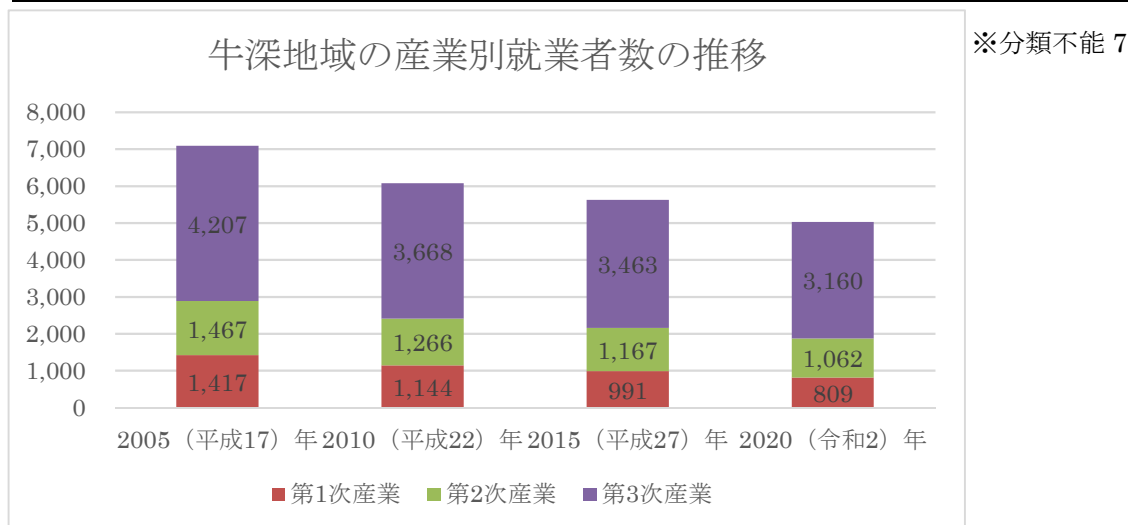
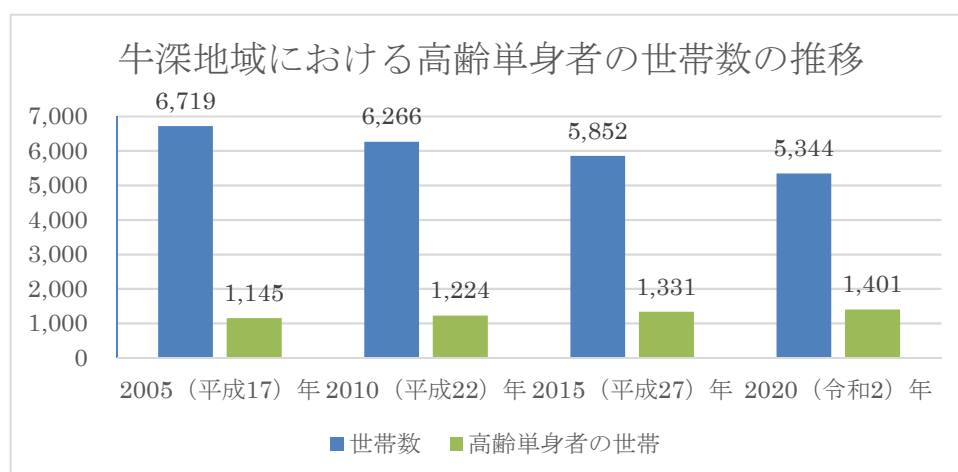


表6 牛深地域における高齢単身者の世帯数の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年		2010 (平成22)年		2015 (平成27)年		2020 (令和2)年	
	世帯数	比率	世帯数	比率	世帯数	比率	世帯数	比率
世帯数	6,719		6,266		5,852		5,344	
高齢単身者の世帯	1,145	17.0%	1,224	19.5%	1,331	22.7%	1,401	26.2%



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

地域資源を活用して出来ることから始めよう

～「豊かな海とハイヤ」を守り伝える活力あるみなとまち“牛深”～

本地域において、生活スタイルやまちづくりに対するニーズが多様化・複雑化する中で、地域住民 1 人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、性別や年齢などの違いにかかわらず、継続的にまちづくりを実践できるよう、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

よって、まちづくりの基本理念を「地域資源を活用して出来ることから始めよう～「豊かな海とハイヤ」を守り伝える活力あるみなとまち“牛深”～」とし、生き生きとした個性あるまち、牛深づくりを推進します。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

- ①産業経済部門・・・創造性豊かな産業のまちづくり
 - ・特産品を活用したまちづくり
- ②観光・文化部門・・・歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり
 - ・牛深ハイヤを活用したまちづくり
 - ・地域伝統芸能を活用したまちづくり
 - ・牛深の歴史・文化、自然、景勝地などの魅力を活用したまちづくり
 - ・既存観光文化資源と光を活用したまちづくり
 - ・地域間交流の促進
- ③地域振興部門・・・みんなで築く活力あるまちづくり
 - ・地域活性化のための活動に取り組みやすいまちづくり
 - ・スポーツ大会、文化芸能活動を通じた住民の誇り、生きがいつくり
- ④教育部門・・・未来を拓く人を育むまちづくり
 - ・地域住民の教養の向上
 - ・地域リーダーの育成
 - ・未来を拓く子どもたちの学びの支援
- ⑤保健・医療・福祉部門・・・生き生きと暮らせ共に支え合うまちづくり
 - ・スポーツ大会、文化芸能活動を通じた住民健康づくり
- ⑥生活環境・防犯防災部門・・・環境と共生した安心・安全なまちづくり
 - ・地域の景観づくりの促進
 - ・安心して暮らせるまちづくり

4 分野別行動計画

各地区におけるアンケートや意見交換会、また、本地域全体ワークショップで、本地域の特色と課題を分野別に洗い出しました。また、部門方針及びそれに基づいた具体的な方策を本地域全体ワークショップで検討し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むもの、行政主体で取り組むものを分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリや鯛などの養殖が盛んに行われており、かつ天然のアジや鯛、イカなどの新鮮な魚介類を獲ることができる。 ・雑節の生産量が日本一である。 ・柑橘類の栽培に最適な段々畑の環境を生かし、高い品質を持つ晩柑や不知火（デコポン）などの生産が行われている。 ・農業についての専門家も多く耕作放棄地で芋、玉ねぎ、菜の花等を栽培している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業従事者は高齢化しており、後継者も少なく、農業・漁業の従事者は減少の一途である。 ・若者の雇用の場が少ないため転出者が多く、若者の人口流出が著しい。 ・耕作放棄地や、使われていない漁船が増えてきている。 ・新鮮な海産物・農産物があるが、牛深の特色を生かした菓子類の土産品が少ない。

4.1.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期		
		R5	R6	R7	4年 以上		

4.2 観光・文化部門

4.2.1 特色・課題

特色	<ul style="list-style-type: none">・牛深ハイヤは、全国ハイヤ系民謡の発祥とされ、全国的に有名な郷土芸能である。また、4月に開催されるハイヤ祭りには毎年各地から多くの観光客を集めている。・砂月海水浴場、茂串海水浴場を有し、夏場には海水浴客で非常に賑わっている。・遊漁船の基地として有名で多くの釣り人が訪れている。・天草夕陽八景（10カ所）に牛深地域から三景（4カ所）が選定されている。・国立公園の指定区域内である六郎次山や遠見山の頂など、素晴らしい景観を持つ山が点在している。・くまもとアートポリス事業に採択された「牛深ハイヤ大橋」があり、漁港連絡橋として利用されると共に、近年のイルミネーションなどの取組も相まって、牛深の観光スポットの中心となっている。・我が国最古の海城とも言われる「久玉城跡（県指定史跡）」を初め、多くの文化財、史跡が点在している。・市指定無形民俗として、虫追い祭りや塩振り踊り、神子舞、池の祭り、久玉八幡宮大祭、川祭り、大麻祭り、神待祭、山之神祭、大祓祭、祭日祭等の祭りが住民の心のよりどころとして継承されている。・深海町の河津桜の認知度が上昇してきた。・「天草小唄」で有名な横田良一が本市二浦町の出身であり、毎年「横田良一祭」が開催されている。・日本人女性として初めてドイツで医学博士の学位を受けた医師「宇良田唯」の出身地として、顕彰碑が設置されている。・平成27年3月19日、本市と高森町が【横軸連携交流】について協定。
課題	<ul style="list-style-type: none">・宿泊施設が少ないため、牛深ハイヤ祭り等のイベント時に多くの観光客を収容できていない。・年間を通じた「牛深ハイヤ」を感じることができる場所がない。・若者の減少により地域の伝統行事の担い手や、案内できる知識を持った住民が不足している。・地域伝統芸能を担う者の高齢化などにより後継者が不足している一方で、文化継承のための取組が少ない。・地域を包括した情報発信やインフォメーション機能が弱い。・同時期の開催のイベントの相互の横軸連携（情報共有）が不足している。・文化財や史跡などの既存の観光資源を、存分に活用することができていない。

4.2.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
<p>【ハイヤを楽しむファンづくり事業】 牛深ハイヤ踊りや元ハイヤなどの体験や鑑賞を通して、牛深ハイヤをPRする事業(天草八十八ヶ所霊場巡礼者におもてなしを行う「天草八十八ヶ所巡りめいどサロン」など)に対し、予算の補助を行うことで、牛深ハイヤの認知度、魅力度の向上を図っていく。</p>	予約に対する対応率 90%の確保	—————▶				<p>婦人会 + まち協 + 各種団体</p>	<p>政策9 芸術文化 の振興と歴史文化の 保存・継承</p>
<p>【うしぶか Nanairo プロジェクト】 各種団体と協働し、イルミネーション等を活用した「光のまち」の推進に取り組む。この取り組みに既存事業や各種団体事業を掛け合わせて実施していくことで、観光客の増加や地域経済の活性化、地域住民のシビックプライドの向上を図っていく。</p>	年間2回以上の実施	—————▶				<p>まち協 + 地区振 興会 + 各種団 体</p>	<p>政策16 魅力ある観 光の創造</p>

4.3 地域振興部門

4.3.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントや、清掃活動などへの参加率が高い。 ・ 振興会の役員が協力的である。 ・ グラウンドゴルフが盛んである。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区振興会等の地域活動が、高齢者を中心に活動している状況であり、若年層の参加が少ない。 ・ 事業への参加者が固定化されつつある。 ・ 地域イベントへの参加者数が年々減少している。 ・ 地域リーダーの高齢化が深刻である。 ・ 若い会員がいるが、会員の能力を十分に活用しきれていない。 ・ 地域振興活動の内容が十分に広報できておらず、活動内容をあまり知らない住民も多い ・ 自分たちの地域は自分たちで作り上げていくという認識を持っていただくための取り組みを行う必要がある。 ・ 小学校、中学校の統廃合が進み地域の活気が薄れている。 ・ 高齢化が進み、郷土料理が風化していく傾向にある。

4.3.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期		長期			
		R5	R6	R7	4年 以上		
【郷土料理教室】 小学校 6 年生を対象に、地元の食材を使った伝統ある料理教室を実施することで、地元の食材の素晴らしさを伝えると共に、地産地消の意識啓発を図る。	毎年 1 回実施	—————→				婦人会 + まち協	政策 6 子どもたちの学びの充実 政策 15 経済の好循環を生み出す地産地消・地産地消の推進
【まちおこしサポート事業】 牛深地域における「まちの活性化」に繋がる他団体等の事業に対し、さらなる活性化が生み出されるよう支援を行う。	毎年 2 回実施	—————→				まち協	政策 2 様々な分野における市民活動の推進
【包括的広報活動】 牛深地域の各種イベントや、旬の物産などの情報を集約し、効果的な広報を行う。手法については、SNS やホームページを中心に、それぞれを掛け合わせた包括的な広報を行うことにより、それぞれの相乗効果を狙う。また、本会で取り組んだ事業について牛深地域住民向けに「牛深まちづくり協議会だより」を発行する。	随時更新	—————→				観光協会 + まち協 + 地区振興会	政策 1 市民が活躍する地域づくりの推進 政策 16 魅力ある観光の創造

【えびす大黒グラウンドゴルフ大会】 他地域の住民と地元住民が交流するスポーツ大会を行うことで、住民の生きがいづくりや健康づくりはもとより、交流人口の増加による地域活性化を目指す。	毎年1回実施					牛深地区 振興会 + まち協 + グラウンド ゴルフ協 会	政策22 スポーツ・運動 の推進と交流機 会の創出
		→					

4.4 教育部門

4.4.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・人情溢れる牛深の風土により「温かい心」を持った子どもが多く育っている。 ・牛深地域内の中学校にて、伝統文化の継承として牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤの指導が行われている。 ・牛深高等学校にて、地域に根差した特色あるまちづくりや産業に関する研究活動などが行われている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、小学生の体力維持・向上が危惧される。 ・趣向が多様化する社会にあり、かつ新型コロナウイルスの流行により、人との関わりの希薄化が懸念されている。 ・少子化により多くの子ども会が解散し、小中学校のPTA活動も縮小している。

4.4.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
【牛深高校探究活動等支援】 牛深高校生徒による探究活動等を支援し、生徒たちの探求心や向上心を育成する。また、それらの活動で得られた成果を、地域振興活動に繋げていくことで、本地域の活性化を図り、もって高校生や地域住民らのシビックプライドの醸成を目指す。	随時					まち協 + 牛深高校	政策6 子どもたちの 学びの 充実 政策7 学びの発 見と人材を 育成する 大学との 連携

4.5 保健・医療・福祉部門

4.5.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の互助意識が高く、安心して暮らせる。 ・元気な高齢者が多い。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバス便が少なく高齢者の病院等への移動が不便な状況である。 ・高齢者の一人暮らしが増えてきており、地域内の見守りパトロールや災害時等の避難体制の整備が必要である。 ・高齢者が定年等により現役を引退した後も、地域での「居場所」や「出番」、「役割」を得られるような場所づくりが求められている。

4.5.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
【天草地域芸能祭】 高齢者が定年等により現役を引退した後も、地域での「居場所」や「出番」、「役割」を得られ、健康で意欲を持ち続けながら生活を送ることができるよう、高齢者の生きがいづくりを支援する。	毎年1回の開催 来場者数400人	—	—	—	→	老人会 + まち協	政策 20 高齢者の 生きがい づくりの推 進
【ハイヤ杯グラウンドゴルフ大会(まちおこしサポート事業)】 高齢者が、健康で意欲を持ち続けながら生活を送ることができるよう、グラウンドゴルフ大会を通じ、高齢者の生きがいづくりを支援する。	毎年1回の開催 参加者数300人	—	—	—	→	牛深地区 振興会 + まち協 + グラウンド ゴルフ協 会	政策 17 健康寿命 の延伸 政策20 高齢者の 生きがい づくりの推 進
【AED 設置事業】 万が一の事態に備え、誰もが使用できる場所に AED を設置し、維持管理を行うことで、住民の生命を守る。	機材の維持管理	—	—	—	→	まち協	政策 31 消防・救 助・救急 体制の充 実

4.6 生活環境・防犯防災部門

4.6.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事件や事故が非常に少なく安全な暮らしができる。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くに商店等が無くなり買い物が不便になった集落が増えてきている。 ・ 空家や空地が増加し倒壊の危険性や雑草、害虫が問題化している。 ・ 年々除草作業協力者が高齢化してきており、草刈り作業が大きな負担となっている。 ・ 住民の憩いの場や集いの場が少ない。 ・ 少子高齢化や人口減少により、海岸清掃が困難になってきている。 ・ 不審者情報などがある中、通学途上の子どもの見守りが課題となっている。

4.6.2 具体的な振興方策

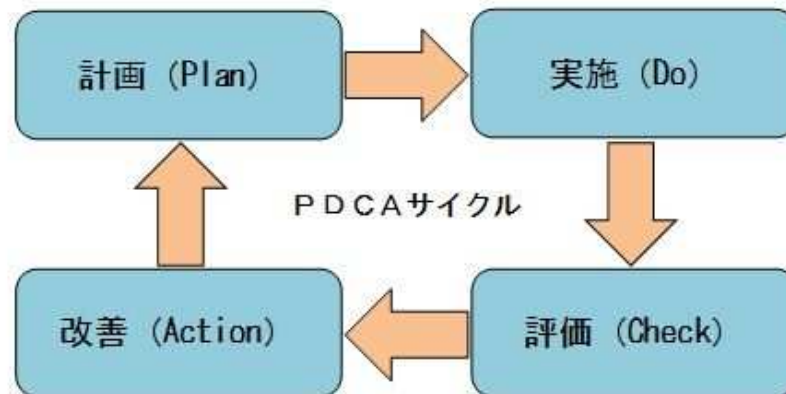
具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
【グリーンアップ大作戦(まちおこしサポート事業)】 牛深が誇る豊かで綺麗な海を、市民あげて清掃し、景観維持を図る。	年1回の開催	—	—	—	—	まち協 + 市民団体等	政策 36 自然資源 を活用した 地域の魅力 向上
【防犯カメラ設置事業】 防犯カメラを設置し、継続して稼働させることで、犯罪に対する抑止力を高める。	機材の維持管理 5年1回のリース料の 支払い	—	—	—	—	まち協 + 商工会 議所	政策 32 防犯・交 通安全・ 消費者保 護対策の 推進
【環境整備(草刈り)事業】 各地区振興会等に草刈り機の貸出を行うことにより、これからの高齢化社会であっても継続可能な、負担の少ない環境整備作業(草刈り作業)のサポートを行う。	年10回以上の貸出	—	—	—	—	まち協 + 地区振 興会等	政策 25 良好なま ちなみの形 成

4.7 計画の推進体制

本計画の推進体制については、牛深まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図3 天草市牛深地域まちづくり計画の評価・見直し（PDCAサイクル）



4.7.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に牛深まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

4.7.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上牛深まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。